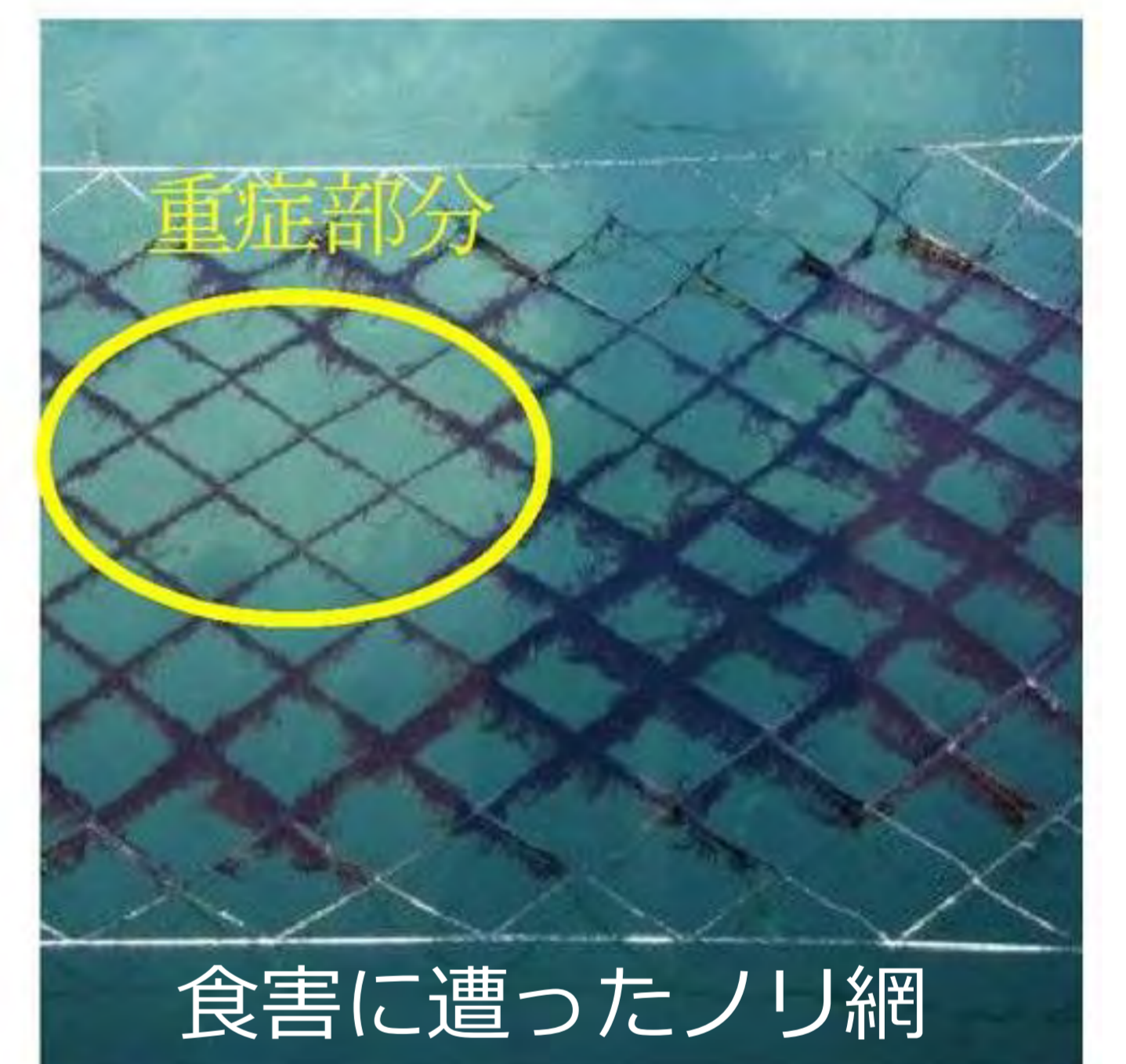


海洋環境保全技術

発信機でクロダイの行動を調べ、ノリの食害対策に活かします



ノリを食べるクロダイ
愛知県水産試験場、水試ニュース510号より



食害に遭ったノリ網

愛知県水産試験場HP、「海藻類に関する研究-バリカン症対策技術の開発」より

背景・目的

- 愛知県は全国7位のノリ産地ですが、近年はクロダイによる食害が増加し、深刻な被害を出しています。
- クロダイの行動を調べれば、より効果的な対策につながるかもしれませんが、クロダイの行動は未だよくわかりません。
- 一方、我々はダム魚道などで発信機を使った行動調査（バイオテレメトリー）のノウハウを持つため、これをクロダイに応用すれば、地域との共生に役立つと考えました。

特長

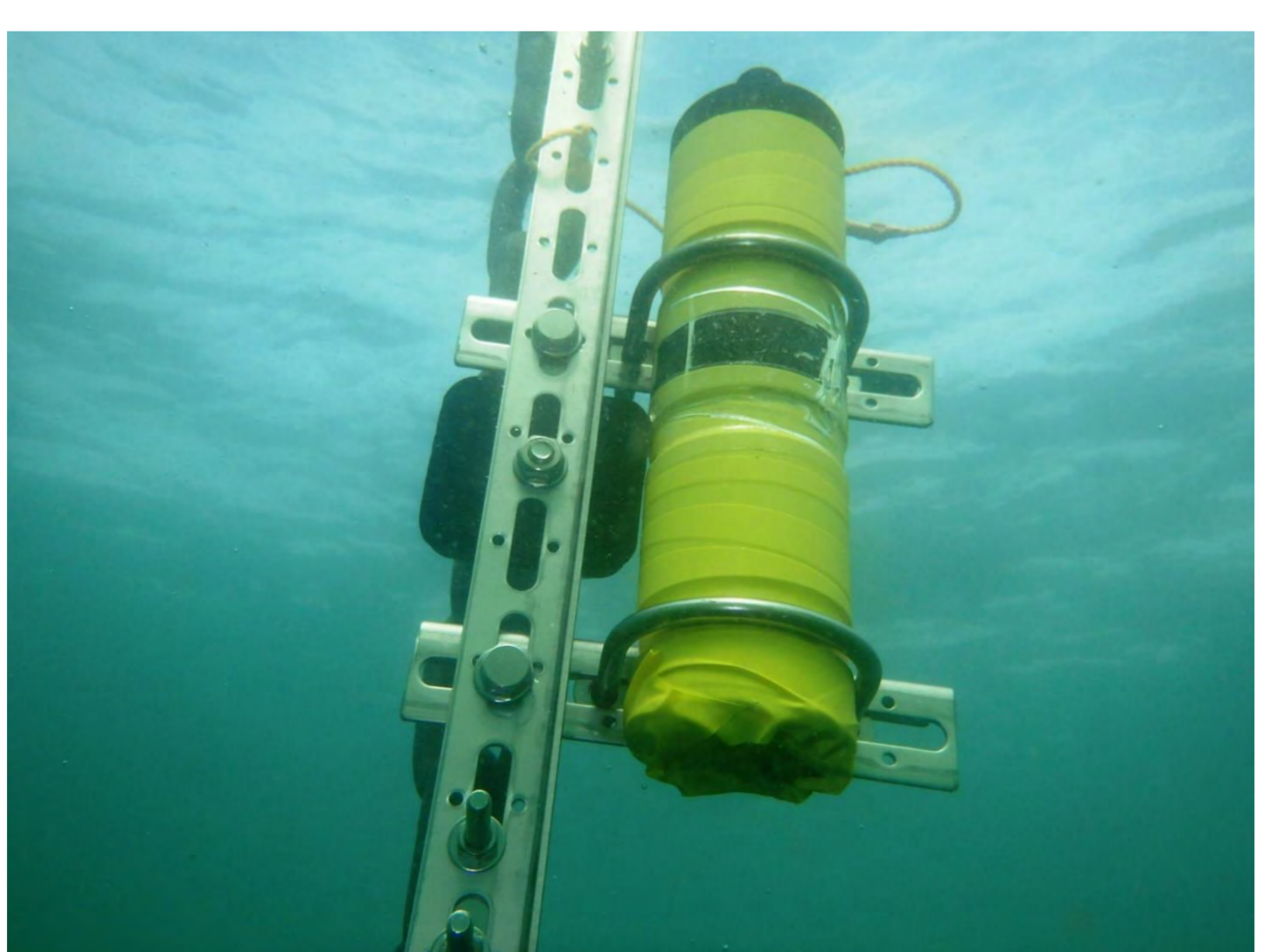
- 潜水調査（数時間）に比べ、バイオテレメトリーは24時間かつ年単位の観察が可能です。その結果、以下のことがわかりました。
- これまで、警戒心の強いクロダイは海底付近にいたと考えられていましたが、頻りに表層へ上がっていることがわかりました。
- また多くの場合、日中に表層へ浮上し、夜間に海底へ沈下する行動パターンを伴っていました。

用途

- クロダイの食害に悩むアサリなどの他の漁業への応用
- 火力発電所におけるCSR活動（地域貢献）への活用



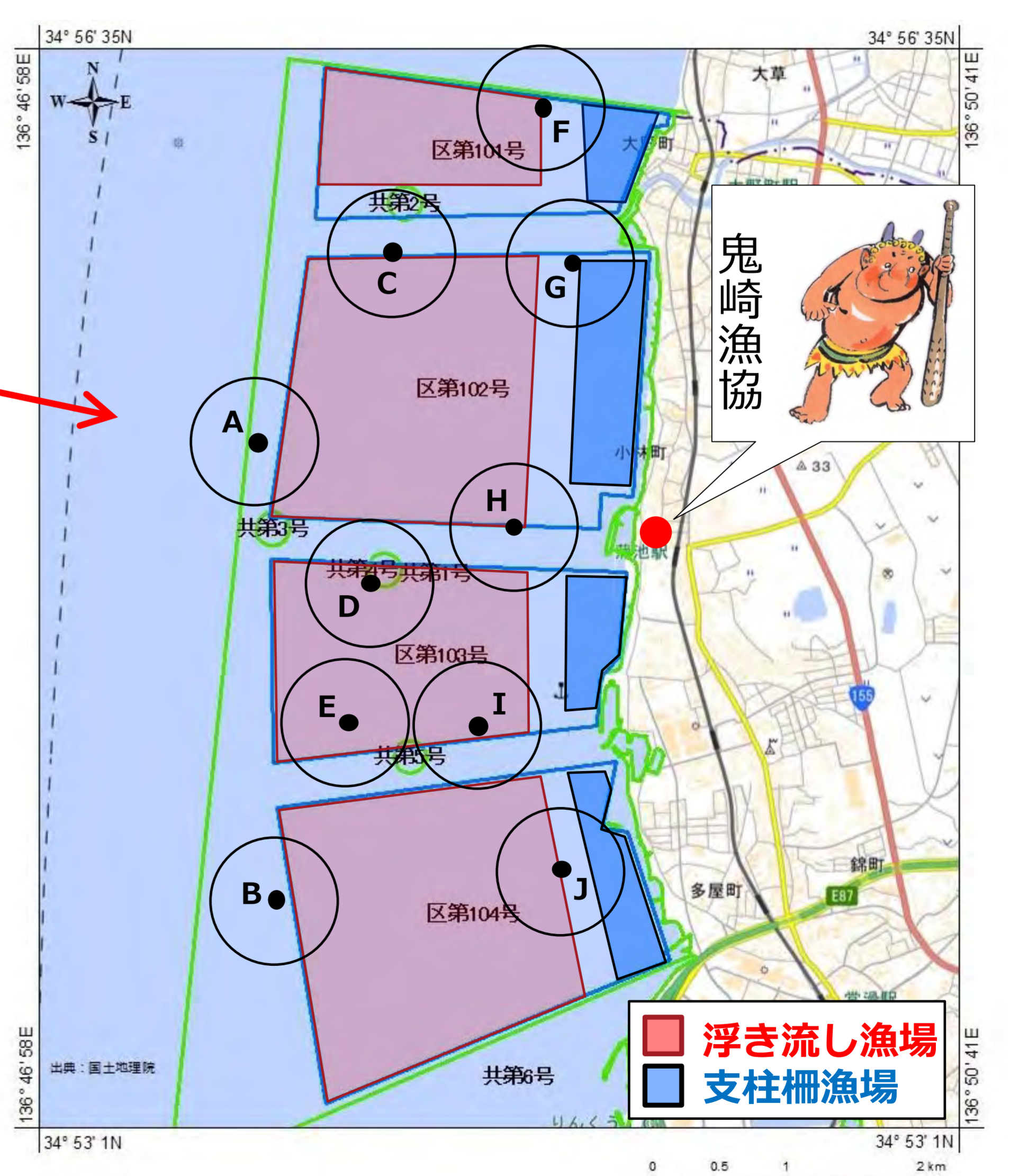
クロダイへの発信機取り付け手術



設置式音波受信機



受信機の設置位置⇒
円は受信範囲（φ500m）を示す



開発者のひとこと

今回、初めてバイオテレメトリーによる行動調査を行った結果、これまでの常識とは異なるクロダイの習性がいくつか浮かび上がってきました。今後は漁業者の方々とともに、得られた知見を活かして食害防止対策の開発に取り組んでいこうと考えています。なお、本研究は鬼崎漁業協同組合様のご協力の元、(株)JERAからの委託研究として実施しています。